

## 平成24年度 県教育委員会が実施する関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	ご意見・ご感想
わくわくまなびフェスタ	10月8日(月・祝)	県立教育研究所	県内幼児・児童・生徒及びその保護者、県内の教員及び教員志望の学生、教育に関心のある方	参加者が楽しく主体的に活動できる体験型のプログラム	2,042 人	来所者アンケートでは、「来年も参加したい」が子ども、大人ともに88%以上を占めた。主な感想としては「ダンスがとても楽しかった。家でもいろいろなダンスをしたいと思った。」(小3)「日本には私の知らない楽器がいろいろあるということがわかった。」(小4)「食育ゲームを通して、バランスを考えた食事を心がけようと思った。」(中学生)「高校生の方々が、やさしかったのが印象的です。」(小5)等
ふれあいフェスタ	10月27日(土) 28日(日)	うだ・アニマルパーク	幼・小・中学校の児童生徒、高校生、保護者、地域住民、一般	児童・生徒の思いやりの心を育み規範意識の向上を図るため、動物とのふれあいを通して命の大切さを学ぶイベントを「うだ、アニマルパーク」で開催。今回、運営等に高校生が積極的に参画する。	4,050 人	来場者数が前回は2,300名だったのに対し、今回は4,050名、と1,750名増やすことができた。 28日(日)は、雨天であったが2日間とも盛況であった。 様々な活動や体験を通して、命を豊かに感じる感性を育むよい機会であったと思う。 (参加者の感想) 「スタンブラリーに家族で楽しく参加させていただきました。豚汁もおいしかったです。今日は、ふれあいフェスタに参加させていただいて本当に良かったです。」 「イベントが盛りだくさんでとても楽しかったです。大勢のスタッフの方がいらっしゃるの、質問するにも、すぐ見つかり安心です。」
第21回 奈良県産業教育フェア	11月17日(土)	県立 御所実業高等学校	一般	高校生による産業教育に関する成果等の総合的な発表の場を全県的な規模で提供することにより、産業界、教育界及び広く県民に産業教育について考える機会を提供する。	1,000 人	終日、雨天であったが盛況であった。会場をここ数年変えているが、地域の方の参加も多く、広く県民に産業教育を知っていただく機会となっている。
人権教育コーディネーター 研修講座	11月1日(木)	県立教育研究所	各市町村教育委員会人権教育推進担当者、社会教育指導委員、社会教育主事、講師団講師等、社会教育関係団体指導者及び構成員	奈良県における自殺対策の現状を知るとともに、自殺防止の取組について学ぶ。	45 人	(参加者の感想) 先生のお話が大変分かりやすく、自殺の現状や予防の大切さ、対処の仕方等、とても勉強になりました。 ロールプレイは難しかったが、気づくことの大切さは身にしみました。
人権教育コーディネーター 研修講座	11月15日(木)	県立教育研究所	各市町村教育委員会人権教育推進担当者、社会教育指導委員、社会教育主事、講師団講師等、社会教育関係団体指導者及び構成員	DV被害者への支援策や女性、子どもの人権について考える。	34 人	(参加者の感想) DVは命の危険を感じるような暴力のことと思っていたが、日常のちょっとしたことが相手を傷つけること、自分も傷つけられていたかもしれないと知り、勉強になりました。小さなことに気づくアンテナも必要だと思いました。
人権教育コーディネーター 研修講座	11月27日(火)	御所市役所 御所市内	各市町村教育委員会人権教育推進担当者、社会教育指導委員、社会教育主事、講師団講師等、社会教育関係団体指導者及び構成員	地域社会における人権教育について、講義とフィールドワークを通して考える。	29 人	(参加者の感想) 史料やフィールドワークをとっても興味深く学習できました。これからは、「人間はなぜ差別をするのか」を追求していきたいです。 御所の町の成り立ちや、人々のつながりの様子が分かりました。
識字合同学習会 (第11回ふれあい広場)	12月8日(土)	川西文化会館 コスモスホール	識字学級生等、日本語教室で学習されている方、県・市町村職員、教職員、社会教育関係団体指導者、県民	県内の識字学級等で学んでいる方の作文発表や作品展示等を通して、識字問題についての認識を深める。	245 人	(参加者の感想) 識字学級生や識字学級と交流している東市小学校5年生の作文発表がよかった。 高田小合唱クラブのミニコンサート、ふるさとをいっしょに歌えたのはよかったです。 オープニング川西小の子どもたちの能初めて見ましたがすごいと思いました。

## 平成24年度 県教育委員会が実施する関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	ご意見・ご感想
同和問題関係史料センター 常設展示	祝祭日を除く 月～金 9:00～17:00	県立同和問題関係 史料センター	県民	展示テーマ「新しい地域社会を築くために」	250 人	(参観者の感想) 奈良県の被差別民の歩みについてわかりやすく学べた。 今後の地域社会づくりを考えていく上で、参考となる内容でした。
平成24年度運動場芝生化 実践報告会	11月20日(火)	吉野町立 吉野小学校	県内幼・小・中・高等学校、 中等教育学校及び特別支援 学校の教員ならびにPTA関 係者、市町村教育委員会等 行政機関関係課の職員並び に運動場芝生化推進に関心 のある方	本県が子どもの体力向上施策の一環として、平成21年度から取り 組んでいる「運動場芝生化」について広く啓発・推進することを ねらいに、児童が芝生化された運動場で活動(外遊び・体育の授 業)している様子を見学していただくとともに、会場校の取組につ いて報告・紹介していただき、芝生化した運動場の魅力等につ いて発信する。	38 人	参加者の方には、昼休みや体育の授業、子どもたちが芝生の上での びのびと活動している様子を見学していただくことで、芝生の良さを感じ ていただくことができた。 また、運動場の芝生を活用した遊びや運動事例を紹介することによ り、芝生の運動場では多様な遊びや運動をすることが可能であることを 知っていただくことができた。
チャレンジ 運動フェスタ	12月22日(土)	県立橿原公苑 第一体育館	第1部 県内の小学生 (3～6年生)  第2部 県内の幼児・児童と その保護者	子どもの体力向上と親子の絆を深めることを目的とし、県教委が HPを通じて実施している「外遊び、みんなでチャレンジ」のまとめと して運動遊びの成果を発揮する場と位置づけて実施する。	1,027 人	第1部の「チャレンジ運動大会」では、ペアなわとび、8の字大なわとび 共に昨年度以上のエントリーがあり、熱戦が繰り広げられた。 また、第2部の「親子でチャレンジ」では、佐藤弘道お兄さんの「らくが きっ子体操クラブ」のお兄さんお姉さんと一緒に、幼児から大人まで総勢 1000人あまりの人が体を動かし、親子のスキンシップや体を動かすこ との楽しさを体感していた。
橿原考古学研究所 附属博物館 秋季特別展	10月6日(土)～ 11月25日(日)。 (月曜休館。た だし、10月8日は 開館。10月9日 は休館。会期中 の祝日は開 館。)	橿原市畝傍町50-2 橿原考古学研究所 附属博物館	県民	日本国の誕生—古事記ができたころ— 展示構成 第1部「古事記」伝承地と考古学 第2部「日本国」の誕生～律令による国づくり～ 第3部「日本国」と周辺文化～対外交渉～ 第4部太安萬侶と同世代の人々 研究講座、列品解説、遺跡見学会等を実施	12,222 人	
国指定史跡「頭塔」 の特別公開	10月27日(土) ～11月12日 (月)9:00～16:30	奈良市高畑町921 バス停「破石町」すぐ	県民	国指定史跡「頭塔」の特別公開。ならまちの東方のまちなかにあり、「謎のピラミッド」と話題になった頭塔と呼ばれる階段状の土塔は、一辺32m、高さ10mのピラミッド形をしており、あたかも立体的な曼荼羅のように多数の浮彫石仏(重要文化財)が配されています。頭塔保存顕彰会への協力金として300円(10名以上の団体は200円)をお納め下さい。期間中は予約不要、直接現地へ。	2,356 人	
国宝薬師寺東塔 保存修理現場の 特別公開	11月10日(土) ～11日(日)	奈良市西ノ京町 薬師寺境内	県民	国宝薬師寺東塔の保存修理をおこなっている現場を特別に公開します。 ○見学開始時間 各日共に午前5回、午後5回(応募は、各日の午前・午後の区分で行う) ○定員1回50名、 ○参加費無料(ただし、入山に際し拝観料の支払が必要) ○参加申込は「往復はがき」による事前申込制のみ 同伴1名まで、申込可(同伴者も記名させる) 小学校5年生未満は、参加不可(小学生は保護者同伴とする)重複申 込み不可(各応募者1通とする)。応募者多数の場合は抽選で決定	1,000 人	
県指定文化財 写真パネル展示	10月29日(月) ～11月2日(金)	県庁東棟1階 県民ホール	県民	23年度に県指定文化財として指定し保護を図ることとした文化財 について、写真パネルで紹介いたします。	--	

## 平成24年度 県教育委員会が実施する関連行事

事業名	期日(期間)	会 場	参加対象者	内 容	参加人数	ご意見・ご感想
第31回橿原考古学研究所 公開講演会	11月3日(土) 文化の日 開演 13:00 (開場 12:00)	やまと郡山城ホール	県民	テーマ「古事記の新たな世界」 ○講演①「古事記編者 太安万侶墓の発掘からわかること」奈良 芸術短期大学教授 前園実知雄 氏 講演②「考古学からみた古 事記の世界」橿原考古学研究所附属博物館学芸課長 今尾文 昭 氏 講演③「天武天皇と古事記」 奈良県立図書情報館長 千田 稔 氏 まとめにかえて 奈良県立橿原考古学研究所長 菅谷文則 事前申し込み不要。入場は先着順1,000名、入場無料。	750 人	
奈良県高等学校PTA 「家庭教育」指導者研修会	10月11日	県立教育研究所	県内各高等学校 特別支援学校における PTA「家庭教育部」の リーダー及びその会員	「思春期、どう関わる？」-親子で活かす解決志向アプローチ- 講師 岡クリニック 院長 岡留美子	111 人	思春期の子どものかかわり方、声掛けなどを見直すことができた。子 どもをほめることの大切さを痛感した。 原因を追及するのではなく、解決法を見つけ出す、考え出すという新し い発想がよかった。 子どもに対し、注意することが多く、なかなかよい点に目がいかなか った。これからは、自尊心が伸びるようほめる機会を増やしたい。
地域教育力向上実践講座	10月19日	県立教育研究所	PTA役員 教職員 地域コーディネーター 地域ボランティア 社会教育関係者	「多様な子どもの理解」-特別な配慮が必要な子どもへの支援- 講師 プール学院大学 講師 松久真美	119 人	具体例をあげながら、分かりやすく説明いただいた。 とても分かりやすい例が多かったので、支援が必要な子どもたちの気持 ちになって考えることができた。 実際に支援をする中でどうすればいいのか迷うことも多く、今日の講座 で児童たちに少し近づけたと思う。 基本的な事から教えていただき、分かりやすかった。
読み聞かせ講座	10月31日	県立教育研究所	保育所職員、 幼稚園・小学校・中学校 ・特別支援学校の教員、 ボランティア、 市町村教育委員会、図書館 ・公民館関係者	講義・演習「読み聞かせ講座・初心者向け」 -届けませんか？本の楽しさ- 講師 子どもの本屋「こびすくらぶ」代表 茅谷千恵子	48 人	絵本の選び方や読み聞かせのポイントなど参考になった。子どもに読ま せたい本をたくさん提示してもらった。 読み聞かせをする際に「ここはどうしたらよいのだろう」と思っていた部分 も分かりやすく教えてもらい、今後生かしていけると思った。 読み聞かせを始めたばかりなので、本に対する姿勢や選書の仕方など 勉強になった。
平成24年度 奈良県公立学校 優秀教職員表彰	11月1日	県庁第1会議室	表彰される 公立学校教職員	教職員の意欲高揚と学校の活性化を図ることを目的として、職務 に精励し、他の教職員の模範となる教育活動を実践している教職員 及び教職員グループを対象として表彰し、広く実践事例を公表	19 人	19名(小9、中6、高4)